

神経伝導速度検査 (NCV Nerve Conduction Velocity)

どんな検査？



NCVは四肢のしびれや脱力を呈する患者で、末梢神経障害が疑われる場合に行う検査です。

末梢神経を外部から人工的に電気刺激することによって誘発される活動電位波形を記録し、伝導速度、波形の振幅・持続時間などを測定します。

筋活動電位を観察して測定される運動神経伝導速度（MCV motor nerve conduction velocity）と神経活動電位を観察して測定される感覚神経伝導速度（SCV sensory nerve conduction velocity）の2種類があります。

神経を電気刺激するため、ピリピリ感、痛み、違和感を覚えるかもしれませんが、体に害はありません。

何がわかる？

わかる病気は、神経が障害される末梢神経炎、糖尿病ニューロパチー、手根管症候群、遅発性尺骨神経麻痺、変形性脊椎症などです。

なおこの検査は全て医師が実施します。

検査の実際

【運動神経伝導速度(MCS:Motor nerve Conduction Study)】

@測定される神経

- 正中神経 median nerve
- 尺骨神経 ulnar nerve
- 橈骨神経 radial nerve
- 脛骨神経 tibial nerve
- 腓骨神経 Peroneal nerve

【感覚神経伝導速度(SCS:Sensory nerve Conduction Study)】

@測定される神経

- 正中神経 median nerve
- 尺骨神経 ulnar nerve
- 肘上部 (above elb 橈骨神経 radial nerve)
- 腓腹神経 sural nerve

顔面神経検査

顔面神経麻痺患者の重症度や麻痺が回復するまでの期間を判定できる検査です。顔面神経の支配筋である口輪筋に導出電極を置き、耳朶の下を電気刺激して筋活動電位を記録します。

検査の実際

- ① 顔に電極というシールをアルコール綿で拭いてから3カ所貼ります。
- ② 耳の下あたりに電極をあて、電気刺激を行います。
- ③ 徐々に電気刺激を強くしますので、ピリピリと感じたり、口の周りがピクピク動きますが動かないようにお願いします。
(痛みが我慢できないときは、遠慮せず声を掛けて下さい。)
- ④ 電気刺激を何度か繰り返します。
- ⑤ 片方が終了したら、反対側も同様に検査して終了です。
- ⑥ 検査時間は30分程度です。



注意点

- 来院する前に洗顔を済ませるか、顔や耳の後ろを拭いてきてください。
- クリームなどの保湿剤を塗ったり、化粧をしたりしないでください。
- 髭は剃ってきてください。
- 金属アレルギーのある方はお申し出ください。
- アルコールに過敏症のある方は非アルコール性の清拭綿を使用しますのでお申し出ください。